

81 山川 日 A314

# 現代の日本史

改訂版

鳥海 靖 三谷 博 渡邊 昭夫

令和3年度用  
(2021年度用)

山川出版社  
内容解説資料

教科書協会  
「教科書発行者行動規範」に  
則っております

山川出版社



# 現代の日本史 改訂版

B5判・234頁 予価672円

日A314

## 1 時代の特色・流れがわかる 丁寧な叙述

近代・現代を全8章にわけ、時代の特色や推移を国際環境とのかかわりの中で理解できるよう、時期別に構成しました。

## 2 導入の写真と問いかけ

改訂版では、課題を持って学習に取り組めるよう、各見出しの導入として生徒の関心を高める写真と問いかけを新たに設けました。

## 3 1頁大の18のコラム

各時期を印象深く理解できるようなテーマを選んで、生徒の興味・関心をひくエピソードを織り交ぜて詳しく解説しました。

## 4 主体的な学習にも対応

生徒の視点で疑問を見出し、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義について気付かせ、現代を問い直す学習活動ができる主題学習を例示しています。

図版は大きく掲載し、見やすくしました。また、写真は生徒が興味・関心を持てるようなものを選択しました。口絵では「近代・現代の街なみと暮らし」をテーマに掲げ、生活文化の変化をビジュアルに示しました。

# 生活と文化を重視 ビジュアルな教科書

### 改訂のポイント

導入に写真と問いかけを入れました。

【著作者】  
鳥海 靖  
三谷 博  
渡邊昭夫  
塩出浩之  
中村尚史

## Message



鳥海靖  
(とりうみ やすし)  
東京大学名誉教授

21世紀を迎えて、交通・通信手段のめざましい発達とともに、グローバル化の動きはますます活発に進行し、世界は小さくなりつつあります。また、東日本大震災と、その中で起こった原子力発電所の原子炉破壊による放射能漏れ事故は、自然災害の激烈さと、科学技術の進歩への安易な信仰に対して、強い反省を迫る出来事でした。今後、日本と世界がどのような激動にさらされ、どのような方向に向かうか予断を許しません。その方向性について理解するためには、何よりもまず、国際社会の変動の中で、過去の日本がどのような歩みを経てきたのか、とりわけ、明治維新以来、百数十年の日本の足跡について、しっかりと見詰める努力が不可欠でしょう。

この『現代の日本史』の教科書では、冒頭に「私たちの時代と歴史」という項目を設けて、われわれの生きる時代が、近代以前といかなる点で変化したのか、またそれを実現する努力がどのように進められてきたのかについて大観しています。そして、以下、時代を追って、「第1章 開国と維新」から「第8章 現代の世界と日本」まで、時代ごと、テーマごとに記述しました。本文の末尾には、東日本大震災による大きな被害と今後の課題についても記述しています。

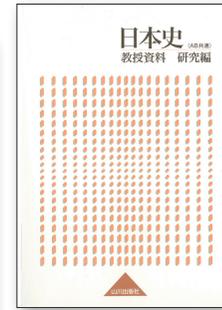
そのほか、コラムではそれぞれの時代の重要で興味あるテーマを選んで、様々なエピソードを含めて、より詳細に解説しました。また、「近代の追究」「現代からの探究」では、生徒自身が教師の指導を受けながら、自分たちで史料を調査し、それを分析して、報告・討論するなどの学習活動ができるように構成を考え、研究課題を設定してあります。

『現代の日本史』執筆代表者からのメッセージ

## 現代の日本史教授資料



授業実践編



研究編



教科書ソフト



日本史正誤問題データ集

対応していて  
使いやすい

## 準拠ノート



現代の日本史改訂版  
ノート

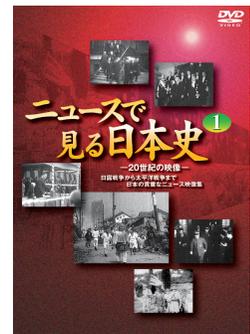
## 電子黒板・ プロジェクター用



日本史デジタル教材集



NEW日本史デジタル  
素材集



ニュースで見る  
日本史

## DVD教材



ムービー日本史

時代の特色・  
流れがわかる  
丁寧な叙述

近代・現代を全 8 章にわけ、  
時代の特色や推移を国際環  
境とのかかわりの中で理解  
できるよう叙述しました。

政党・政派の変遷……表見返し  
近代・現代の街なみと暮らし……口絵  
巻頭資料 開国までの歴史…… 4  
「近代」の始まりと社会の変化 **私たちの時代と歴史** ……11

第 1 章

開国と維新

- 1 明治維新の背景……14
- 2 西洋への開国……20  
コラム② 海外への視察と留学……25
- 3 政治秩序の崩壊……26
- 4 王政復古と急進的改革……32  
コラム③ アメリカ人教師のみた廃藩置県……39
- 5 新たな対外関係の樹立と内乱の終結……40  
コラム④ 琉球の歴史……43

第 2 章

近代国家の形成と発展

- 1 立憲政治をめざして……44  
コラム⑤ 新聞の始まり……48
- 2 憲法の制定と議会の開設……49
- 3 東アジアの国際環境と条約改正問題……53
- 4 清国との戦い……57
- 5 藩閥・政党の対立と協力……60
- 6 ロシアとの戦い……63  
コラム⑥ 高橋是清と日露戦争の外債発行……67
- 7 日露戦後の国際関係と日本……68  
コラム⑦ 日本の植民地統治——台湾と朝鮮……71

第 3 章

産業化の推進と国民生活の変化

- 1 産業革命の進展……72
- 2 資本主義の確立とその特色……76
- 3 社会問題の発生……79
- 4 国民文化の形成……83  
コラム⑧ 女子留学生と女子教育の発展……90
- 5 国民生活の変化……91

第 4 章

第一次世界大戦と大正デモクラシー

- 1 第一次世界大戦と日本の外交……96
- 2 デモクラシーの高まりと政党……100
- 3 国際協調と軍縮の進展……104  
コラム⑨ 人種差別撤廃問題と日本のユダヤ人政策……108
- 4 政党政治の時代……109
- 5 大戦中から戦後の経済と社会……112
- 6 都市化と大衆文化……116  
コラム⑩ オリンピックと女性選手の活躍……123

第 5 章

第二次世界大戦と日本

- 1 昭和恐慌……124
- 2 協調外交のゆきづまり……127
- 3 満州事変から国際的孤立へ……130
- 4 軍部の政治的台頭……134  
コラム⑪ 日本の特殊権益地域——満州……137
- 5 中国との戦い……138
- 6 第二次世界大戦と世界新秩序……142  
コラム⑫ 空襲——重慶・東京・ドレスデン……145
- 7 太平洋戦争……146
- 8 日本の敗北……149

移民はなぜおこなわれるように  
なったのだろう **近代の追究** ……154

第 6 章

占領下の日本

- 1 占領政策の展開……156  
コラム⑬ 絵画や文学作品にみる敗戦と戦後……159
- 2 戦後民主主義の定着……160  
コラム⑭ 価値観の転換……163
- 3 政治・経済の再建……164
- 4 独立の回復……168

第 7 章

日本の自立と経済成長

- 1 55年体制の成立……174
- 2 安保体制下の日本……179
- 3 高度成長の光と影……183  
コラム⑮ 高度経済成長と格差……189

第 8 章

現代の世界と日本

- 1 激動する世界……190
- 2 国内政治の再編成……196  
コラム⑯ 災害と危機対応……200
- 3 アジア・太平洋地域と日本……201  
コラム⑰ 国境をこえる人の移動……204
- 4 21世紀の課題……205  
コラム⑱ 国際機関で活躍する日本人……209

身近な事象と私たち **現代からの探究** ……210

巻末資料 年表……212

さくいん……218

国・県対照図／現代の世界……裏見返し

合計時数 68  
詳しいシラバス案は  
ホームページをご覧ください。

凡例 年は年代を知るのに便利のため西暦を主とし、日本の年号は( )の中に入れた。明治5年までは日本暦と西暦とは1カ月前後の違いがあるが、年月はすべて日本暦をもとにし、西暦には換算しなかった。たとえば天正14年12月1日は、西暦では1587年1月9日であるが、1586(天正14)年12月とした。改元のあった年は、その年の初めから新しい年号とした。たとえば慶応4年9月8日に改元して明治元年となったのであるが、この年のことはすべて1868(明治元)年とした。

年間指導計画例

4月  
7

5月  
8

6月  
9

7月  
4

9月  
8

10月  
8

11月  
5

12月  
6

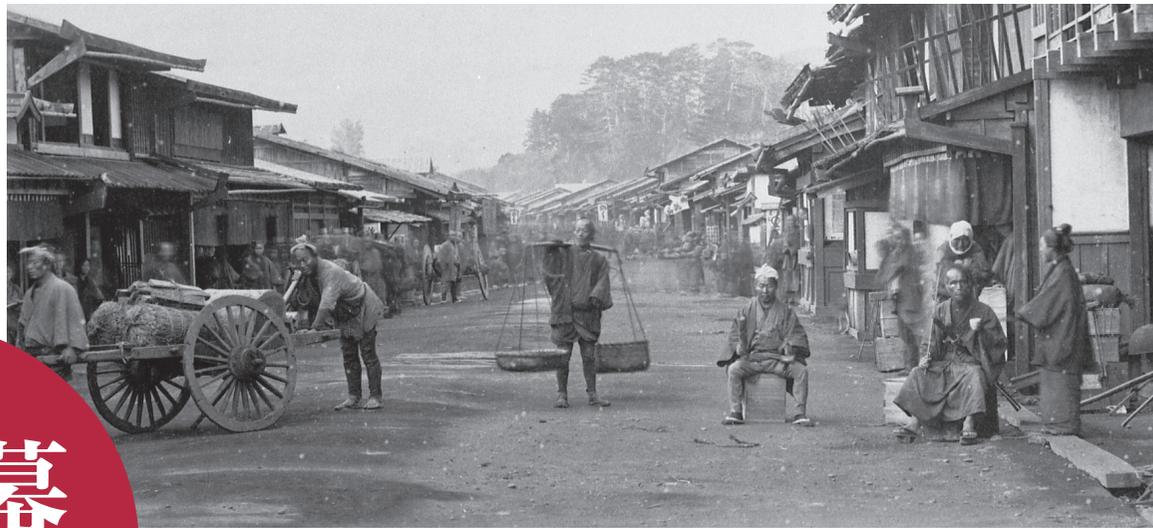
1月  
6

2月  
5

3月  
2

「東京停車場之図」(1918(大正7)年、鉄道博物館蔵)

# 近代・現代の街なみと暮らし



幕末

食事の支度の様子。現在では珍しくなった道具(かまど・釜・すり鉢など)が並んでいる。左の2人はかまどに火をおこし、釜を使ってご飯を炊いているのだろうか。右の2人はおかずの準備。4人とも和服で食事の準備をしている。(横浜開港資料館蔵)



東海道五十三次の江戸・日本橋から9つ目の宿場、小田原の様子。街道沿いに2階建ての家が建ち並び、和装の人びとが行きかっている。天秤棒をかついでいるのは物売りの人である。(横浜開港資料館蔵)

## 生活と文化を重視



たんすや床の間、鏡がある部屋の様子から相当裕福な家の女性だろう。裕福な女性は定期的に髪を専門の髪結いに結ってもらっていた。(横浜開港資料館蔵)



豊富で大きな地図・写真・図版  
口絵・本文などに約500点以上の地図・写真・図版を掲載しました。口絵には「近代・現代の街なみと暮らし」をテーマに、「幕末」「明治」「大正・昭和初期」「戦中・戦後」「現代」にまとめ、当時の生活を追認できるようにしてあります。

文明開化の銀座の様子(復元模型)。人力車や乗合馬車が走っており、にぎやかな風景である。街中を歩く人びとには、洋服姿もみられる。また、建物も洋風建築が多くあり、ガス灯も実用化されている。(東京都江戸東京博物館蔵)

明治



呉服屋の様子。店は畳敷きで客は店員から反物の説明をきいている。店員の手もとには、勘定を計算するためのそろばんが用意されている。女性の服装・髪形が和風なのに対して、男性は「ざんざり頭」であるのが対照的である。(横浜開港資料館蔵)

街なみのにぎわいは、現代とあまりかわらないようにみえるが、建物、人びとの服装、道路を通行している乗りもの様子など、日常風景が現代と大きく異なっている。また、空の部分に注目してみると、現代では当たり前の電線などはなく、空が高くみえる。女性たちは和服姿が普通で、日常の家事なども和服でこなしていた。いつの時代もおしゃれには余念がない。裕福な家の女性は髪結いをおこない、着飾る余裕があった。しかし、それはあくまでも一部の人びとで、世の中のすべての女性がおしゃれを楽しめたわけではない。



洋装が増え、それに合わせた最新の髪形を紹介する図。('末髪図解'部分、一関市博物館蔵)

明治時代に入ると、文明開化の影響を街中で見ることが出来る。銀座の街角は洋風の煉瓦造りの建物が増えている。また、現代のタクシーに当たる人力車や馬車、乗合馬車が見られ、交通手段が発達している様子がうかがえる。交差点にガス灯も設けられているが、まだ電線が張りめぐらされている様子はない。道幅は広くとられているが、まだ交通量は少ないようである。男女とも、和服姿ばかりでなく、洋服姿もあらわれるようになった。

# 開国までの歴史

## 日本の始まり

日本列島で人びとが生活のいとなみを開始したのは、今から約3万6000年前のこととされ、地質時代では更新世に当たる。このころ日本列島は、まだユーラシア大陸と陸続きであり、大陸から渡来してきた人びとは打製石器を用いながら、狩猟・採取の生活をしてきた。

1万年余り前のころ、地質時代という完新世を迎えると、地球は温暖になり、海面が上昇したため、日本列島は大陸から切り離されて現在に近い列島ができ上がった。この前後から人びとは煮炊きや貯蔵のための土器をつくり、それを用いるようになった。この時代を土器の文様から縄文時代と呼んでいる。

一方、中国では紀元前6000年前ころには黄河や長江流域で農耕が始まり、その後、青銅器・鉄器の使用が進む中、紀元前3世紀には、秦・漢といった強力な統一国家が成立した。日本も中国の影響を受け、渡来人によって水稲耕作や青銅器・鉄器がまず九州北部にもたらされ、その後、九州・四国・本州に広がりを見せた。

水稲耕作が日本に伝わったとされる紀元前5世紀ころから後3世紀ころまでを弥生時代と呼んでいる。それは、当時の人びとが使用していた土器が発見された地名にちなんでつけられた。



金印 倭の奴国の王が中国(後漢)の皇帝から授かったものと考えられる。(福岡市博物館蔵)

このころは、中国で日本の存在が認識されるようになった時代でもある。中国の歴史書によると、当時の日本は「倭」と呼ばれていた。また、「倭人」の社会は紀元前1世紀ころに百余国にわかれていたが、後3世紀になると、女王卑弥呼の邪馬台国を中心に約30国の小国の連合が成立したとされる。

## 古墳時代・飛鳥時代

3世紀後半から4世紀にかけて奈良(大和地方)を中心とする近畿地方に、政治的勢力が形成され、その下に各地の勢力が連合したヤマト政権が成立する。5世紀以降、ヤマト政権の王はたびたび中国の皇帝に朝貢し、その権威を利用して九州から東北地方南部までを勢力下において、大王と呼ばれるようになった。3世紀後半から7世紀前半までは、近畿地方を中心に、



大仙陵古墳(仁徳天皇陵古墳) 最大の規模をもつ前方後円墳。

前方後円墳をはじめとした大規模な古墳が数多く造営されたことから、古墳時代と呼ばれている。この時代は中国や朝鮮半島からやってきた多くの渡来人によって、新しい技術や漢字・仏教・儒教などが伝わり、日本の文化の形成に大きな影響をおよぼした。

6世紀末の推古天皇のころ、厩戸王(聖徳太子)は、蘇我馬子らと協力し、天皇を中心とした国家形成につとめた。厩戸王は仏教を重んじたため、この時代に本格的な仏教文化が形成された。また、589年に中国を統一した隋に、小野妹子を遣隋使として派遣し、それまでとは異なり、従属しない関係を築こうとした。

隋が滅亡したあと、中国を統一した唐は律令国家を建設したが、日本もその影響を受けることになった。中大兄皇子や中臣鎌足らが進めた大化改新は、日本に律令政治が始まるきっかけ

となった。その後、701(大宝元)年に大宝律令が完成し、唐を模倣する形で日本にも天皇を中心とする律令制度による国家がつけられた。

また対外関係では、630年には初めて遣唐使を派遣したが、663年の白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗し、日本の朝鮮半島での影響力は後退した。しかし、その後も遣唐使の派遣は続けられ、多くの文化や諸制度がもたらされた。

## 奈良時代・平安時代

710(和銅3)年、都は藤原京から奈良の平城京に移された。こののち、山背国の長岡京を経て平安京に遷都されるまでの時代を奈良時代と呼んでいる。律令制国家は公地公民制の原則のもと、戸籍をつくって人びとを把握し、班田収授法を実施した。しかし、農民の税負担は重く、土地を捨てて逃亡する者もあった。この時代には、聖武天皇による東大寺の大仏建立や、正倉院の宝物などにみられるように、国際色豊かな仏教文化・貴族文化が栄えた。これを天平文化という。



鑑真像 (唐招提寺蔵, 天平文化)

西暦	B.C.	A.D.	100	200	300	400	500		
時代	旧石器・縄文	弥生		古墳					
文化				[古墳]					
主要事項		前1世紀ころ、倭、小国分立	57 倭の奴国王、後漢に入貢	39 卑弥呼、魏に遣使	前方後円墳出現	このころヤマト政権、統一進む	技術者集団の渡来(渡来人) 巨大古墳の築造	78 倭王武、宋に遣使・上表	38? 仏教公伝(戊午説)(一説552壬申説)

### 歴史の流れを確認する巻頭資料

近代までの歴史の流れを確認できるように、原始・古代から開国までを巻頭資料として7頁にまとめています。

600										700										
飛鳥										奈良										
[飛鳥]					[白鳳]					[天平]					[天平]					
93 厩戸王、政治に参加する	03 冠位十二階を制定	04 憲法十七条を制定	07 小野妹子を隋に派遣(遣隋使)	30 第1回遣唐使	45 大化改新(蘇我入鹿を暗殺)	46 改新の詔	63 白村江の戦い(倭軍、唐・新羅軍に敗北)	70 庚午年籍をつくる	72 壬申の乱	84 八色の姓を制定	94 藤原京に遷都	01 大宝律令の完成	10 平城京に遷都	23 三世一身法を施行	29 長屋王の変	40 藤原広嗣の乱	41 国分寺建立の詔	43 墾田永年私財法、大仏建立の詔	64 恵美押勝(藤原仲麻呂)の乱	65 道鏡、太政大臣(藤原)の乱

# 第3章 産業化の推進と国民生活の変化

資本主義による産業の世界的な変化を背景に、日本は政府の手により殖産興業政策を推進し、1880年代後半から紡績業・製糸業などを中心に、民間の近代産業が急速に発展をとげた。19世紀末から20世紀初めにかけて日本でも産業革命が達成され、資本主義が成立したと考えられる。

このような急速な産業化は、交通・通信手段の発展とあいまって、日本の社会・文化や人びとの生活に大きな変化をもたらした。

## 1 産業革命の進展

明治維新後の日本は、近代産業が導入されて、産業革命への道を歩み始めた。何が産業革命をもたらしたのか、政府と民間企業それぞれの役割に注目して考えてみよう。

大阪紡績会社 華族や商人たちの出資によって1882(明治15)年に設立された大阪紡績会社は、イギリスから蒸気機関で動く紡績機を導入して、綿糸を生産した。電灯を備えた大規模な工場で、昼夜交代制の操業をおこない、大きな利益を上げた。工場のおもな働き手は女性(女工)であった。(東洋紡織)



導入の  
写真と問いかけ  
改訂版では、課題を持って学習に取り組めるよう、各見出しの導入として生徒の関心を高める写真と問いかけを新たに設けました。

### 産業化の基盤整備

明治初年以來、政府は「富国強兵」を合言葉に殖産興業政策を進めて近代産業の育成をはかり、国力の充実をめざしてきた。しかし、近代化政策や西南戦争の戦費にあてる財源に苦しみ、政府は1870年代に、正貨と引き換えることができない不換紙幣をしきりに発行した。その結果、不換紙幣の価値が下がってインフレーションがおり、政府の財政は悪化した。国内産業の活性化によって輸入が増える一方で、物価の高騰によって輸出は伸び悩み、貿易赤字が続いた。

そこで政府は、大蔵卿(のちの大蔵大臣)の松方正義を中心に、財政の立直しに着手した。まず増税によって歳入の増加をはかり、財政を緊縮して歳出を切り詰め、不換紙幣を整理してインフレを抑制する一方、正貨として銀を蓄えて準備した。そして、1882(明治15)年、国



第一国立銀行 1873(明治6)年、日本橋兜町に建てられた5階建ての西洋館で、東京の名物の一つであった。(神奈川県立歴史博物館蔵)



松方正義 通算15年余り大蔵卿・大蔵大臣をつとめ、2度首相となった。殖産興業政策を進めて、近代日本の財政・金融の基礎を築いた。(国立国会図書館提供)

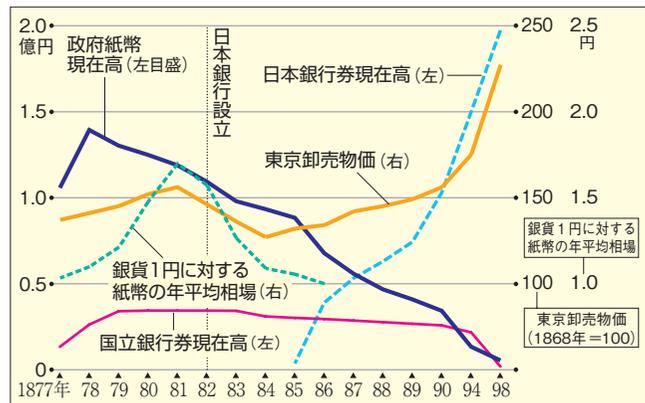
の中央銀行として日本銀行を設立し、ここだけに紙幣を発行する権限を認めて、1885(明治18)年から正貨と引き換えることのできる兌換紙幣を発行し、銀本位制を確立させた。

政府はまた、近代技術を導入する上で大きな役割を果たしながら経営的には必ずしも採算がとれない各種の官営事業を、軍事産業を除いて民間に払い下げ、民間産業の育成をはかった。こうした財政政策(松方財政)でインフレは収拾され、不景気となったが(松方デフレ)、貨幣・金融制度が整備されて近代産業発展の基礎が築かれた。

①通貨の価値を一定量の正貨、つまり銀に引き換え可能とすることで保証する仕組み。

②この結果、全国に150余りあった国立銀行は、紙幣の発行ができない民間の普通銀行になった。

不換紙幣 左は民部省札、右は太政官札で、いずれも政府が発行した不換紙幣である。(日本銀行貨幣博物館蔵)



紙幣整理の動向(『近代日本経済史要覧』より) 政府紙幣と国立銀行券をあわせた紙幣の流通量は、1881(明治14)年末の1億5300万円から1884(明治17)年末には1億3227万円へと減少した。そして1円に対する紙幣価値は1.1円以下となった。





日本銀行 1882(明治15)年に設立された。国で唯一紙幣(日銀券)を発行する権限をもち、国の金融政策の中心となった。写真は1896(明治29)年建設の日本銀行本店本館(辰野金吾設計)で、国の重要文化財。(日本銀行提供)



最初の日本銀行兌換銀券(百円札、見本) 同時に発行された一円札は、現在でも通用する最古の紙幣である。(日本銀行貨幣博物館蔵)

イメージがわくよう  
人物の写真を多く入れました。



渋沢栄一(渋沢史料館蔵)



大阪紡績会社の外観(東洋紡蔵)

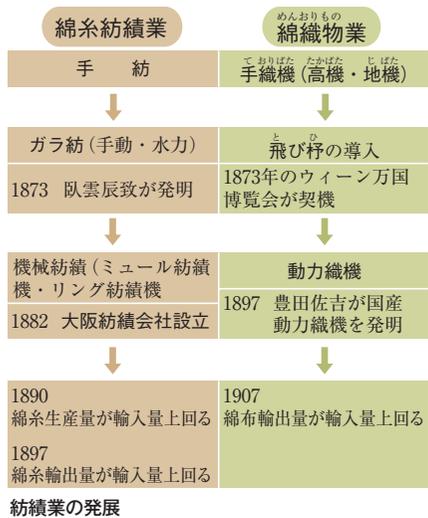
**豊富な  
史・資料と  
大きな図版**  
地図・写真は大きくレイアウトし、学習の理解が深まるように工夫しました。

**製糸業・紡績業の発展**

1880年代半ばころから、民間の近代産業がしだいに発達してきた。その中心は、生糸を生産する製糸業と綿糸を生産する紡績業であった。

製糸業では、江戸時代以来の伝統的な手動式の座繰製糸に加えて、輸入機械を簡素化して改良した器械製糸による小規模な工場が各地に数多く建設された。これらの工場は水車や蒸気機関を用い、国産の繭を原料として生産を拡大し、しだいに大規模な工場もあらわれた。日本産の生糸はイタリア産や清国産の生糸との国際競争を勝ち抜いて、アメリカやヨーロッパ諸国に輸出された。

紡績業では、1882(明治15)年、実業家の渋沢栄一らの尽力で大阪紡績会社が設立されたのをはじめ、1880年代末から90年代初めにかけて、民間で大規模な紡績会社がつぎつぎと設立され、大量の綿糸を生産した。その結果、機械紡績が在来の手紡やガラ紡による生産を大きく上まわるようになった。1891(明治24)年から10年間で綿糸の生産高は約4.5倍に増え、国内の需要を満たすだけでなく、日清戦争後は、政府の輸出奨励策のもとでイギリス産やイン



綿糸の生産と輸出入高の変遷(飯島幡司「日本紡績史」より) 日清戦争後、まもなく綿糸の輸出は輸入を上まわり、生産量も大幅に伸びている。単位の柄は綿糸の包みで、1梱400ポンド(約181kg)である。

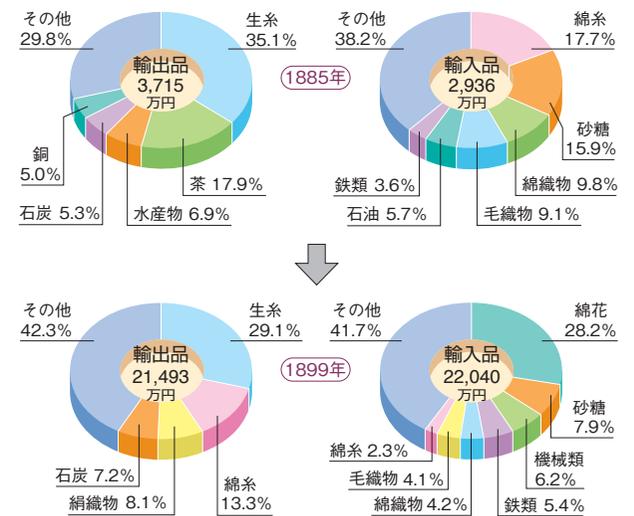
ド産の綿糸と競争して、朝鮮や清国にさかんに輸出されるようになった。そして1897(明治30)年には、輸出額が輸入額をしのぐにいった。

このように、欧米先進諸国からほぼ50~100年遅れて、日本では1900(明治33)年ころまでに、製糸業・紡績業などの軽工業、とりわけ繊維産業の部門で産業革命が達成された。1872(明治5)年には職業についている人びとの80%以上が農林業などの第一次産業に従事していたが、産業革命の進展で1900(明治33)年にはその比率が70%以下に減少した。

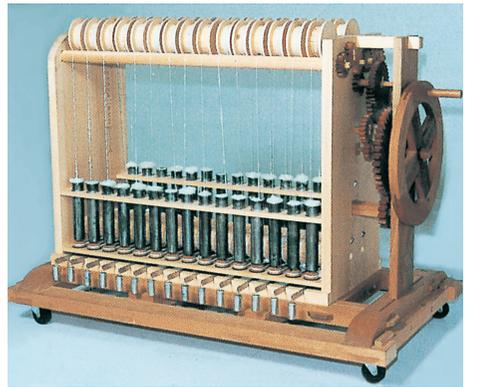
**貿易の振興**

貿易の面では、1885(明治18)年から1899(明治32)年のあいだに、輸出入の総額が約6600

万円から約4億3000万円と6.5倍に急増した。輸出品の第1位はアメリカを最大の市場とする生糸で、総輸出額の30~40%を占め、外貨の獲得に貢献した。日清戦争ころまでは、輸入品の第1位であった綿糸が、1897(明治30)年には生糸につぐ重要輸出品となり、インドやアメリカから輸入した原料の綿花が輸入品の第1位を占めるようになった。このような貿易構造の変化にも、日本が加工貿易を通じて近代工業国へ向け一歩を踏み出した様子が見えてくる。



品目別の輸出入の割合(『日本貿易精覧』より) 1885(明治18)年から14年間で、輸出入の品目がどうか変わったか、注目しよう。

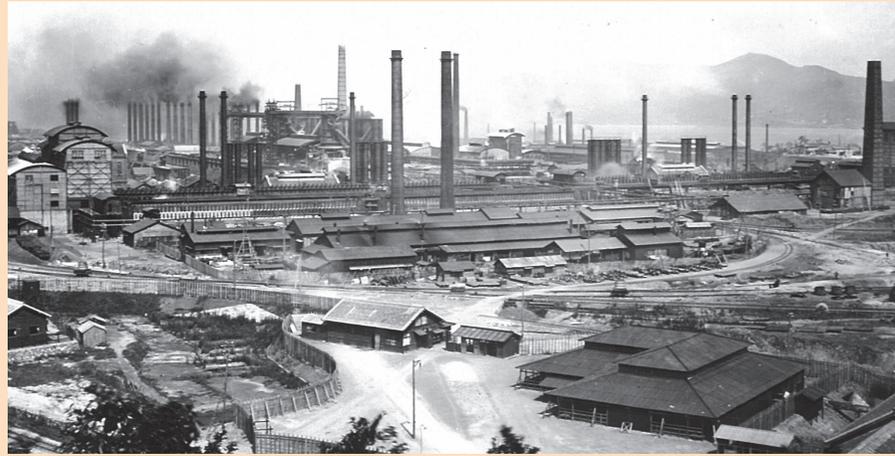


ガラ紡(復元) 臥雲辰致が発明した簡単な紡績機械で、1877(明治10)年の第1回国内勧業博覧会に出品された。これまでの10倍以上の効率で綿糸の生産に当たったが、機械制大紡績工場の増加とともに衰退していった。(産業技術記念館蔵)

動力に機械を用いる機械製の工場生産様式が取り入れられて生産力が飛躍的に増大し、経済・社会に大きな変動をおよぼす現象を産業革命と呼ぶ。18世紀後半にイギリスで始まり、19世紀半ばころまでに、フランス・アメリカ・ドイツなどでも達成された。

## 2 資本主義の確立とその特色

産業革命の進展とともに、交通機関や重工業が発展し、商品経済が浸透した。その結果、日本の経済と社会はどうか変わったか、産業化の担い手に注目しながら考えてみよう。



官営八幡製鉄所 鉄鉱石は清国の大冶鉄山から輸入し、石炭は国産品を用いて、日露戦争後には本格的な生産体制に入った。写真は創業当時のもの。(新日鐵住金株式会社・八幡製鉄所蔵)

### 重工業の発達

日本政府は日清戦争後の1897(明治30)年に、欧米諸国との貿易を重視して、清国からの賠償金をもとに、正貨を金とする金本位制を採用した。そして日清戦争後には、日本銀行や横浜正金銀行などを中心とする資金供給に支えられて民間産業が発展していった。

日清戦争後、軍備拡張や鉄道敷設のために鉄の需要が増加したが、国内の生産体制はととのわず、鉄の大部分は海外からの輸入に頼っていた。そこで政府は、巨額な経費を投入して北九州に官営八幡製鉄所を設立し、1901(明治34)年、ドイツの技術を取り入れて建設した東洋一の溶鉱炉に火が入れられた。国内での鉄の生産体制は日露戦争後に軌道に乗ったが、激増する国内需要を十分に満たすことはできなかった。

また、造船業は三菱長崎造船所などを中心に発展し、日露戦争後には1万トン級の大型鉄鋼船が国内で建造できるようになった。

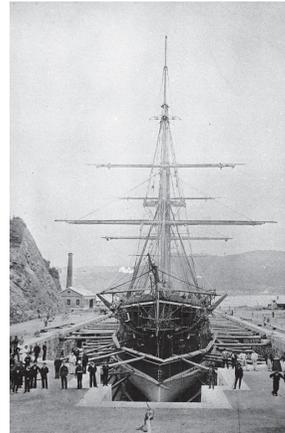
### 鉄道と海運

鉄道業では、1889(明治22)年に官営の東海道線(東京(新橋)・神戸間)が全通した。1890年代以降は民間の日本鉄道会社により上野・青森間が開通したのをはじめ、民営鉄道が全国各地で路線を拡張し、1901(明治34)年までに関門海峡を挟んで青森・下関間、門司・長崎間が鉄道によって連絡された。しかし、政府は日露戦争後、経営の統一と軍事輸送の便をはかるため、

- ① 欧米先進諸国は、このころほとんど金本位制を採用していたが、日本は清国とともに銀本位制であった。そのため欧米とのあいだでは金・銀の交換比率が不安定で、貿易のうえでも不便なことが多かった。
- ② 政府は戦後経営の一環として、日本勧業銀行、日本興業銀行、農工銀行なども設立した。



田中熊吉(1873~1972) ドイツに留学して製鉄技術を学び、帰国後、八幡製鉄所で技術指導に当たり、「溶鉱炉の神様」といわれた。(新日鐵住金株式会社・八幡製鉄所蔵)



長崎造船所立神第1ドック 官営長崎造船所の立神第1ドックは、1879(明治12)年に、フランス人技術者に建設された。のち、官営の経営となり、発展していった。(長崎造船所蔵)

### 知識を深める注

本文の学習内容を理解できるように、叙述を補足する「注」や「参照頁」を入れました。

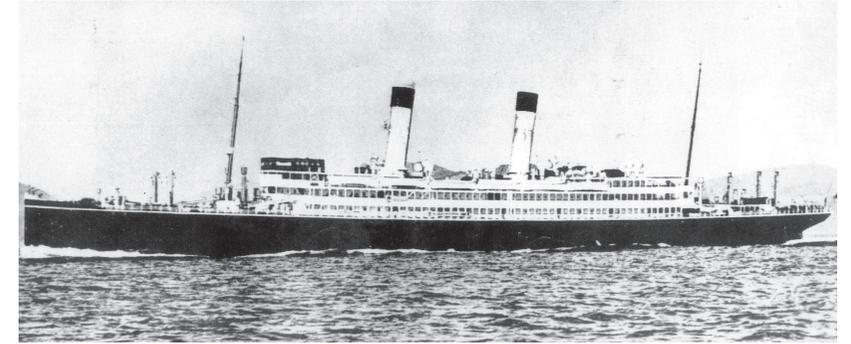
明治39年に鉄道国有法を公布し、全国の幹線を国有化した。その結果、全国の鉄道全長の約90%が、国有鉄道(国鉄)となった。

海運業では、政府の積極的な奨励策のもとで、日本郵船会社などを中心に、日清戦争後は欧州航路・北米航路など、海外への定期航路が開設され、貿易の発展に大きな力となった。

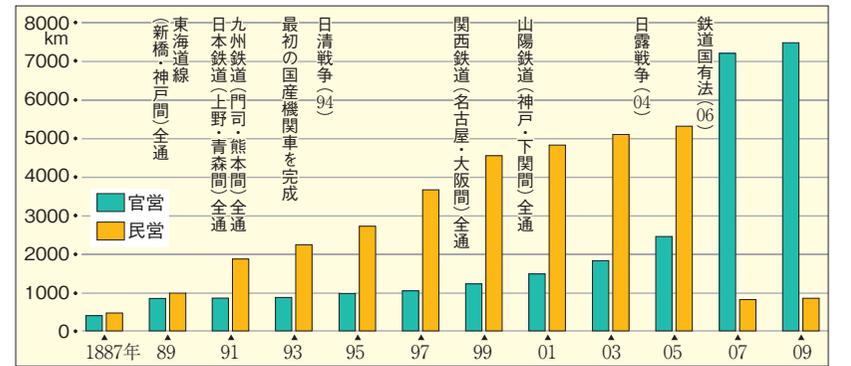
### 資本主義の確立

19世紀末から20世紀初めにかけて、日本は産業革命を達成して資本主義が確立し、1880年代半ばから1910年代初めまでの約30年間に、国民総生産(GNP)は実質ほぼ2倍になったと推定されている。

こうした発展は、在来産業の伝統的技術に加えて、官営事業などにより欧米先進国から学んだ近代技術の移植を通じて実現されていった。初め西洋人技術者(いわゆるお雇い外国人)の指導のもとに取り入れられた新しい制度・技術は、まもなく日本人自身の手によって運営されるようになった。



天洋丸 東洋汽船会社が、1908(明治41)年に国内で建造した総トン数1万3454トンの大型客船で、タービンを主機関とし、北米航路に就航した。1万トン級以上の大型鉄鋼船が国内の造船所で建造されたのは、これが最初であった。(日本郵船歴史博物館蔵)



鉄道が発達 1881(明治14)年に、日本鉄道会社が創立された。1891(明治24)年に上野・青森間が全通され、この年には民営の営業キロ数が官営を上まわったが、日露戦争後の鉄道国有化で、大部分は国鉄となった。

事業所	年代	払下げ先	払下げ価格
高島炭鉱	1874年	後藤象二郎、のち三菱	550,000円
院内銀山	1884年	古河	108,977円
阿仁銅山	1885年	古河	337,766円
三池炭鉱	1888年	佐々木、のち三井	4,590,439円
佐渡金山	1896年	三菱	2,560,926円 (大坂製錬所を含む)
生野銀山	1896年	三菱	
長崎造船所	1887年	三菱	459,000円
兵庫造船所	1887年	川崎	188,029円
深川セメント製造所	1884年	浅野	61,741円
新町紡績所	1887年	三井	141,000円
富岡製糸場	1893年	三井	121,460円

主要な払下げ工場・鉱山(小林正彬『日本の工業化と官業払下げ』より) 年代は払下げ許可年。

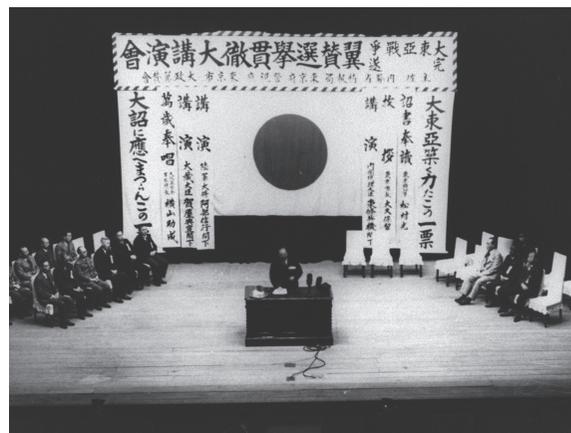
解放し、共存共栄の「大東亜共栄圏」を建設するという理念をかかげ、アジアの人びとの民族独立運動を支援し、戦争への協力を求めた。

日本は、占領地域で軍政をおこなったが、1943(昭和18)年には、ビルマ・フィリピンの独立を認め、自由インド仮政府④を承認した。同年11月、日本勢力下にある諸地域の政治指導者たちを東京に集めて、大東亜会議が開かれ、共同宣言が出された⑤。

しかしこのような理念に反して、現実には日本軍の軍事上の必要性が最優先され、占領地域で石油・ゴム・ボーキサイト③などの重要軍需資源を日本が軍票を用いて半ば強引に調達するなど、現地の経済を混乱させた。また、軍の土木工事で働くことや民族の歴史・文化を無視した神社参拝などを現地住民に強制したり、日本の占領政策に反抗するとみなされた住民を処罰したため、初めは歓迎された地域でも反日気運がしだいに高まった。とくにシンガポールでは、多数の中国系住民を反日活動の容疑で処刑し、陸上戦闘の激しかったフィリピンでも、日本軍による住民への残虐行為がおこなわれたりしたため、戦争末期には抗日運動がいちだんと活発になった。

**翼賛選挙** 日本国内では、戦争初期の大勝利に国民が熱狂し、東条内閣と軍部への人気が高まった。東条内閣はこの機会をとらえて、1942(昭和17)年4月、衆議院議員総選挙を実施した。それは政府系の団体が、衆議院の定員と同数の候補者を推せんするいわゆる翼賛選挙であった。推せんを受けない自由立候補も認められてはいたが、結果は当選者の80%以上を推せん候補が独占した。当選者は翼賛政治会に組織され、それ以外の衆議院の院内団体⑥は解散させられた。

また、政府は内閣情報局を中心に、国民に対して思想・言論の統制を強化し、新聞・雑誌・出版物も戦時色の濃いものとなった。政府の指導で日本文学報国会・大日本言論報国会が設立されるなど、多くの文化人・言論人も戦争遂行を目的に動員された。国民は、生活必需物資の欠乏に悩まされながらも、苦しい生活にたえて戦争に協力した⑥。



①シンガポールにいたインドの独立運動指導者チャンドラ=ボースを、日本に協力させた。当時は、インドの国土を支配していなかったため「仮政府」となった。

②大東亜会議には、日本が独立を認めた国、承認した政府の指導者らが参加し、欧米の植民地支配からの解放、互恵的経済発展、人種差別撤廃などを盛り込んだ大東亜宣言が発せられた。

③ボーキサイトは、アルミニウムの主要な原料となる鉱物で、航空機の製造には欠かせない。

④政党など活動をする

⑤1942(昭和17)年11月、大政翼賛会(→p.143)や朝日新聞社などの共催で、国民の決意を示す標語が募集された。入選作の一つ「欲しがりません勝つまでは」は、苦しい中で戦い抜く決意を示すものとして、全国に宣伝された。

翼賛選挙の貫徹をめざす大講演会あいつぐ戦勝で人気が高まった機会に、東条内閣は政権を固めるため、1942(昭和17)年4月、翼賛選挙を実施し、多数の推せん候補者を当選させた。(毎日新聞社)

**節ごとに改頁**  
節単位に学習内容をまとめましたので、授業展開にリズム感が生まれます。

## 8 日本の敗北

戦局が悪化すると、政府と軍部は、欠乏する労働力を学徒勤労動員や徴用によっておぎない、何とか戦争を遂行しようとした。その結末について、国民生活に注目しながらみてゆこう。



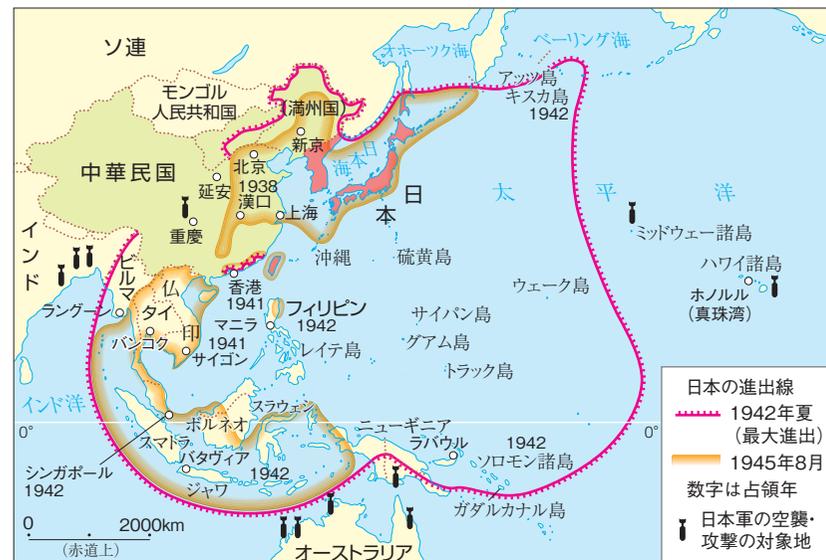
⑥学童の集団疎開 学童疎開は1944(昭和19)年7月ころから始まり、親元などを離れた学童41万人余りが、地方の旅館や寺などに収容された。疎开学童たちは、深刻な空腹に悩まされた。写真は群馬県妙義山麓に疎開した東京の国民学校の学童たち。(毎日新聞社)

### 戦局の悪化

日本の突然の真珠湾攻撃によってアメリカの国論は沸騰し、それまで参戦をためらっていたアメリカは、挙国一致で戦争に突入した⑦。初め戦局は日本に有利であったが、1942(昭和17)年6月、日本海軍がミッドウェー海戦で敗北を喫したのをきっかけに、形勢は逆転した⑧。翌年、圧倒的な物量を誇るアメリカを中心に、連合軍の本格的な反攻が始まると、ガダルカナル島での敗退から、日本軍はつぎつぎと後退を重ねた。そして、1944(昭和19)年7月、南洋諸島の日本の重要軍事拠点であったサイバ

⑦アメリカの西部諸州に住んでいた10万人以上の日系人は、戦争が始まると家や土地を捨てさせられ、強制収容所に収容された。アメリカ市民権をもつ日系2世・3世の中には、合衆国への忠誠心を示すため、志願してアメリカ軍に入隊したものも多かった。

⑧ミッドウェー海戦で、日本側は航空母艦4隻を失うという大打撃を受けた。しかし、海軍当局は敗北を嚴重に隠し、政府側にも真相を知らせず、国民には報道機関を通じて勝利したかのような発表をした。



太平洋戦争要図

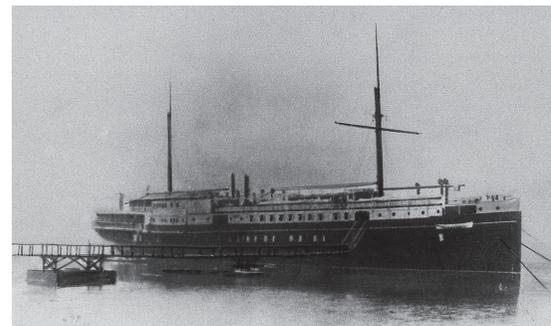
# 移民はなぜおこなわれるようになったのだろうか 近代の追究

日本の近代の歴史を深く学ぶためには、私たち自身が歴史に対して問いを立てて、考えたり話し合ったりすること、そして、みずから調べてみるのが大切です。その一つの例として、「海外渡航と移民」について考えてみよう。

## ■問いを立てる(歴史的事象への疑問)

江戸時代には幕末の開国まで200年以上ものあいだ、日本人の海外渡航は厳しく禁止され、これをおかした者は、厳罰に処せられました。ところが、明治時代に入ると、海外の視察・貿易・留学、そして移民など、さまざまな目的で多くの日本人が海外に渡るようになりました。すでに学習したように、20世紀に入ると、アメリカやカナダでは日本人移民の排斥運動(→p.70)までおきています。

明治維新のあと、日本は欧米に学んで政治や経済などを近代化する改革を進め、日清・日露戦争に勝って近隣地域への勢力拡張をはかるなど、世界の



最初のハワイへの移民船「シテツ=オプ=トクキョウ」号 1880年代から、日本政府の奨励策でハワイ移民が急増した。1868～1941(明治元～昭和16)年の総数は約23万人であった。(毎日新聞社)



ストライキに参加した移民たち ハワイのサトウキビ農園で働いていた日本人移民の中には、20世紀初め、労働条件の改善を求めてストライキをおこした人たちもいた。(広島市文化振興課提供)



「排日移民法」の実施を報じる新聞記事(『東京朝日新聞』1924(大正13)年7月1日付) 多くの新聞は、この日を「屈辱の日」として、アメリカへの非難を展開した。(朝日新聞社)

強国の仲間入りをしました。それなのに、どうして日本人は外国に移り住む必要があったのでしょうか。また、移民はアメリカやカナダだけに渡ったのでしょうか。

## 主体的な学習にも対応

生徒の視点で疑問を見出し、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義について気付かせ、現代を問い直す学習活動ができる「近代の追究」の例です。

### ▶テーマを立てよう

- ・まず疑問点をいくつか出したうえで、それを整理して、おもなテーマとなる問いを立てよう。
- ・テーマとなる問いは、できるだけ具体的なものにしよう。
- ・ここでは「移民はなぜおこなわれるようになったのか」を取り上げましたが、ほかにはたとえば、「議会・政党による政治は地域社会にどんな影響を与えたのか」「情報・通信技術の発達は人びとの暮らしをどのようにかえたのか」「環境汚染(公害)はなぜ生まれたのか」などのテーマがあげられます。私たちの生活とのかかわりの中で、これらがどのように進展してきたのかを問い直してみよう。

### ■因果関係を考える・話し合う(仮説を立てる)

ここに第二次世界大戦前の日本人の海外渡航者数と在外日本人数を示した表があります。この表からは、本土とハワイを含めた「米国」や、「ブラジル」「旧満州」がとくに移民先として多かったことがわかります。とりわけ1924年から1936年のあいだには、「ブラジル」と「旧満州」で日本人の人口が急増しています。

国名	海外移民渡航者数 (明治元～昭和16)	在外日本人数		
		1909 (明治42)	1924 (大正13)	1936 (昭和11)
米国(本土)	107,253	76,709	131,357	111,184
米国(ハワイ)	231,206	65,760	123,036	152,199
カナダ	35,777	8,850	19,160	20,593
メキシコ	14,667	2,465	3,310	4,691
ペルー	33,070	4,560	9,864	22,570
ポリビア	249	—	716	791
チリ	538	145	581	668
ブラジル	188,985	605	41,774	193,057
アルゼンチン	5,398	27	2,383	5,904
パラグアイ	709	—	—	308
ドミニカ	—	—	—	—
フィリピン	53,115	2,156	8,390	21,241
オーストラリア	3,773	3,960	3,879	3,205
ニューカレドニア	5,074	(不明)	(不明)	(約1,000)
ボルネオ	2,829	2,611	5,424	7,185
旧満州	270,007 <sup>①</sup>	31,427	93,223	376,036
その他	93,661	23,910	60,910	75,638
合計Ⅰ	1,046,311	223,185	503,393	996,270
合計Ⅱ <sup>②</sup>	—	278,672	594,611	1,219,272

戦前の海外移民渡航者数・在外日本人数(国際協力事業団「海外移住統計」(昭和27～平成元年度)、外務省領事移住部「わが国民の海外発展(資料編)」より)

①1932～45(昭和7～20)年の農業移民数

②関東州、南洋委任統治地域を含む日本人総数

じつは1924年には、アメリカで「排日移民法」と呼ばれる法律がつくられて、日本人のアメリカへの移民がいっさい禁止されました。この出来事は、その後の「ブラジル」や「旧満州」への移民の増加とどんな関係があるのでしょうか。

また、1936年に「旧満州」への移民がとびぬけて多いのはなぜでしょうか。そのころの東アジアの情勢を、教科書で振り返ってみよう。

移民した人びとには、どんな希望や目的があったのでしょうか。それから、移民した人びとは、日本ではどの地域でどのような暮らしをしていたのでしょうか。そうしたことも、移民した理由に関係してきそうです。みんなで考え、話し合ってみよう。

### ▶問いの焦点をしぼろう

- ・考えたり話し合ったりする中で、さらに具体的に問いの焦点をしぼろう。
- ・問いの焦点をしぼることで、どのような資料を調べればよいか、みきわめることができます。

### ■資料を調べる(仮説を検証する)

立てた問いに関して、図書館や博物館、資料館などに行き、いろいろな資料を調べてみよう。調べたあと、さらに考えたり話し合ったりすることで、理解を深めることができます。

### ▶さまざまな資料を使おう

- ・「文献」…移民の歴史についてはさまざまな本がありますが、自治体がだしている「県史」や「市町村史」などは、その地域から移民した人びとについての重要な手がかりになります。また、移民した人の自伝や手記が残されていることもあります。学校や地元の図書館で探してみよう。
- ・「新聞・雑誌」…昔の新聞や雑誌を調べてみると、当時の世論が移民についてどのように取り扱っていたかがわかります。やはり図書館などで調べてみましょう。新聞や雑誌によっては、データベース化されているものもあります。
- ・「地図」…人びとがどのような国や地域に移民したのか、歴史地図などで具体的に調べてみよう。
- ・「写真・映像」…当時の写真は、文字だけではわからないさまざまな情報を得られる資料です。
- ・「博物館・資料館」…展示しているもの以外にも、さまざまな資料を保管しています。移民の歴史にかかわる資料があるか、たずねてみましょう。
- ・「インタビュー」…実際に経験した人に話を聞くことは、貴重な機会です。たとえば、移民した人やその子孫が、現在は日本に暮らしていることもあります。インタビューの際は、事前に連絡をして了解を得ておきましょう。
- ・「その他」…文化財や地名を探ることも、調べ物に役立つことがあるので参考にしましょう。

### ■報告する(表現する)

問いを立て、考え、調べた内容を、口頭で発表したりレポートに書いたりしてみよう。自分の言葉で表現して伝えることで、理解がより深まります。

### ▶表現しよう

- ・「論述」「ディベート」「ロールプレイング」「プロジェクタ」「紙芝居」など、いろいろなプレゼンテーション方法があります。人に伝えるのにもっとも有効な手段を選択しよう。
- ・たとえば、今回のテーマ設定の場合はグループで、移民を送り出す日本側と受け入れを制限しようとするアメリカ側にわかれて、討論したりするのもよいでしょう。

### 高度経済成長と格差

1955(昭和30)年から20年近く続いた高度経済成長の過程で、日本の社会構造は大きく変化した。所得格差が縮小し、「一億総中流」といわれる均質化した社会が出現する一方で、太平洋ベルト地帯とそれ以外の地方との地域間の格差が拡大し始めた。

5 高度経済成長は、戦前から蓄積されてきた良質で豊富な労働力と、石油価格低下によって得られた低廉なエネルギーに、戦後の欧米からの技術移転による生産技術の革新と、世界経済の成長という外部環境が加わって生じた経済現象であり、日本独特の現象ではない。むしろ、その期間が20年近くにおよんだ点に、日本の特徴を見出すことができる。

15 その理由の一つは、農村から都市への労働力の移動と社会階層の平準化による個人消費の拡大に求められよう。高度経済成長期には学歴別の賃金格差の是正が進み、経済成長による所得増大によって絶対的貧困が減少した。これに政府による所得再分配政策が加わり、社会的な格差が一気に縮小する。こうした社会階層の平準化・均質化と中流意識の普及が、耐久消費財などの需要を強く喚起した。その結果、個人消費支出が拡大し、循環的で長期的な経済成長の基礎になった。

25 一方、長い高度経済成長の過程で、徐々に地域間格差が拡大した点も見逃せない。太平洋ベルト地帯への工業の集中が進み、高度経済成長の果実

を広範な地方に再配分することをねらった国土総合開発計画も十分な成果はあげられなかった。さらに、もともと地方分散傾向が強かった石炭産業や繊維工業の斜陽化が、地方の衰退に拍車をかけた。これに農村から都市への急激な人口移動が加わり、農山村では過疎化が進むことになる。



国土総合開発計画で指定された新産業都市

**1頁大の18のコラム**  
各時期を印象づけるテーマを選び、生徒の興味・関心が高まるようエピソードを織り交ぜて詳しく解説しました。

1965(昭和40)年現在で、戦後のベビーブーム時代に生まれた15~19歳の年齢層は1000万人をこえ、総人口の11%以上を占めた。翌年には、高等教育機関の在籍者数が100万人をこえた。



無人化した工場(1992(平成4)年) コンピュータとロボットの発達は、製造工程までも自動化し、無人の工場を出現させた。



都会に集中した労働者 サラリーマンが多い都会では、通勤時には大変混雑し、人びとにがまんを強いている。写真は東京都新宿駅の朝の風景。

識にも顕著な変化を生んだ。たとえば大学の大衆化もその一つのあらわれであった。学生数が急増し、知的水準も多様化したにもかかわらず、大学当局は従来の少数エリート学生重視の教育方針から抜け出し切れなかった。また、テレビ・新聞・その他の情報源からの影響が拡大し、学園が閉じた知的空間であるかのような意識は時代にあわなくなっていた。1960年代に頻発した学園紛争は、こうしたことに対する若者の欲求不満が一因であった。

他方、マス=メディアなどを通じて、同じ内容の情報が社会全体に同時進行の形でいきわたり、知識の平準化・均質化が進んでいった。所得面でも貧富の格差が縮小し、同じような生活様式と生活感覚をもった人びとは「新中間層」と呼ばれた。



大学の入学式 大学への進学率が高まり、学生数も急増したため、大学の大学の大衆化といわれた。写真は1966(昭和41)年度の入学式の様子。(中央大学大学史編纂課蔵)



学園紛争 1960年代の末に頻発した学園紛争を象徴するのが、1968(昭和43)年におこった東京大学の安田講堂をめぐる学生と警官隊との対決であった。紛争後、安田講堂は荒廃した。(毎日新聞社)

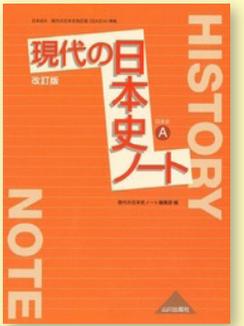


マイカー(1959年) 1960年代末以降、自家用車の普及が急速に進み、1975(昭和50)年には世帯普及率が4割をこえるにいたった。当時、自家用車はカラーテレビ、クーラーとともに、「新三種の神器」といわれた。



集団就職 高度経済成長期には中学校や高校を卒業した直後の若者が、就職のために地方から東京や大阪に向けて集団で旅立った。集団就職は昭和30年代を通じて、若年労働者の農山漁村から大都市への大量流出の主要なルートであった。(1959(昭和34)年3月、熊本日日新聞社)

・教科書の構成・本文の流れに沿った問題形式で、教科書の深い理解につながります。  
・教科書に完全準拠しているため、授業時でも自宅学習時でも、どちらでもお使いいただけます。



### 3 高度成長の光と影

@p.183~188

#### 経済の復興

- A 朝鮮戦争(1950~53年)→(1) **特需**…米軍の軍需品の供給地として好景気  
(1) **特需**による経済復興→1952(昭和27)年, (2) (IMF)・**世界銀行**へ加盟
- B 1955~57(昭和30~32)年, 「(3) **景気**」  
(背景) 1955年, 世界経済が上向き…東西冷戦構図に緊張緩和のきざし  
→日本…年9%の経済成長, 米作は平年の3割以上の豊作, 消費者物価も安定  
国際収支の好転(輸入減, 輸出増)→国内の**金融政策の緩和**により(4) **景気**が増加  
※1956(昭和31)年の「**経済白書**」で「もはや(5) **景気**」ではない」と記される

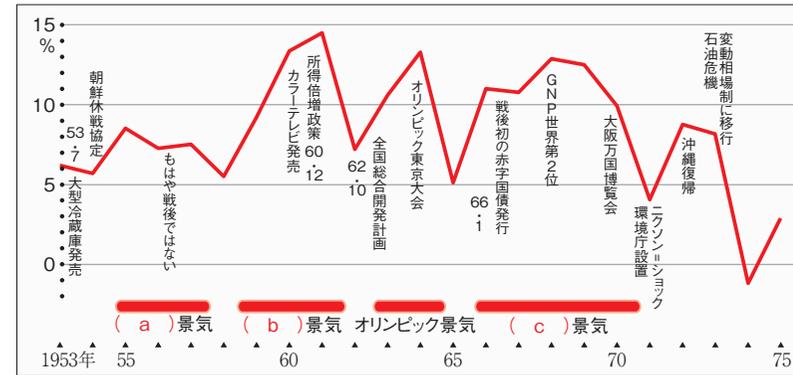
#### 高度成長の時代

- A 「(6) **景気**」(1958~61(昭和33~36)年, 42カ月間)…年平均10%以上の経済成長  
※(7) **政策**(池田勇人内閣)
- B 「(8) **景気**」(1966~70(昭和41~45)年, 57カ月間)…年平均10%以上の経済成長
- C 1968(昭和43)年, **国民総生産(GNP)**が世界第2位の**経済大国**となる  
(背景) (9) **景気**の成果を導入…鉄鋼・造船・自動車・化学部門などで設備更新  
新しい部門の発達…石油化学・合成繊維  
(結果) (10) **景気**の高度化
- D 高度成長期…**外国為替相場**は1ドル=(11) **円**の固定レート  
→実質的円安により輸出に有利…**貿易黒字**  
日本…国内産業育成のため**輸入制限** ←国際社会の批判
- E 1964(昭和39)年, (12) **景気**(OECD)に加盟  
IMF 8 条国となる…貿易収支を理由に為替制限ができない  
→経済先進国として**貿易・資本の自由化**の実行義務が要求されるようになる

#### 消費革命と大衆社会

- A 個人消費…**家電製品**などの**耐久消費財**の急速な広まり  
①1950年代, 「(13) **景気**」(14) **景気**…電気洗濯機・電気冷蔵庫)の普及  
②1960年代, 「(15) **景気**」(3C…自家用車・(16) **景気**・(17) **景気**)の普及  
ナイロン・プラスチックなどの新素材製品の登場
- B 流通…**スーパーマーケット**・**コンビニエンスストア**の登場→(18) **景気**がおこる
- C **団地(集合住宅)**の一般化
- D 交通…**鉄道の電化**、**高速道路網**の整備、民間航空の復興・発展、  
**東海道新幹線**が1964(昭和39)年の(19) **景気**にあわせて開通
- E **社会問題**の発生…生活環境の悪化が大きな問題((20) **景気**)訴訟  
公害対策…(21) **景気**法・(22) **景気**庁の設置
- F 人びとの生活・労働の変化  
①**過疎化**…農山村就業人口の減少→(23) **景気**農家の増加と(24) **景気**農家の減少  
②**過密化**…都市労働者と(25) **景気**(事務労働者)が増加→**賃金労働者**の地位向上  
③労働の**省力化**・(26) **景気**化→労働環境が改善される  
④**大学の大衆化**…大学当局は対応できない→1960年代末の(27) **景気**の遠因  
⑤**知識の平準化・均質化**…マス・メディアの影響と所得格差の縮小→(28) **景気**

問① 下のグラフは、1953~75(昭和28~50)年までの経済成長率の推移を示したものである。グラフの空欄にあてはまる語句を答えなさい。



a. \_\_\_\_\_ b. \_\_\_\_\_ c. \_\_\_\_\_

問② ア. 下の写真と関連する語句を、つぎの語群から選択して答えなさい。

東海道新幹線の開通 オリンピック東京大会 日本万国博覧会



a. \_\_\_\_\_



b. \_\_\_\_\_



c. \_\_\_\_\_

イ. 上の写真の出来事を、語群から選択して年代順に並べかえなさい。

( ) → ( ) → ( )

**見開き構成**  
節ごと見開きにしましたので、学習のリズム感が出るとともに、教科書の構成にそって学習できます。

ノートをご採用いただきますと、**解答入りのPDFデータ**をサービスでお付けいたします。



左頁は教科書の記述にそった**穴埋め整理**, 右頁は**史・資料**を用いた**問題**などで、教科書内容の一層の理解に役立ちます。



# 現代の日本史の教科書

教科書の本文や地図・図版といった教科書に掲載されているデータに加え、『教授資料 授業実践編』より板書例や用語解説、テストやプリント作成に役立つイラストや白地図、年表、準拠テスト例などの素材をCDに収録。さらに、操作方法などを説明した「教科書ソフト活用ガイド」も収録しております。

目A314

## 現代の日本史 改訂版

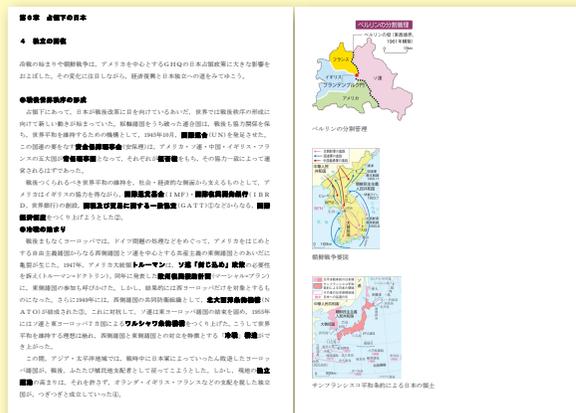
商品番号：72-016

対応機種 Windows 10/8.1  
 対応ソフト Microsoft Word 2013以上 / Microsoft Excel 2013以上 /  
 Microsoft Power Point 2013以上  
 対応ブラウザ Internet Explorer Ver.11以上  
 本体価格：9,000円(税別)



### 1 教科書データ Word

教科書の本文、注、写真キャプションといった文字情報のほか、地図や図版も収録しています。

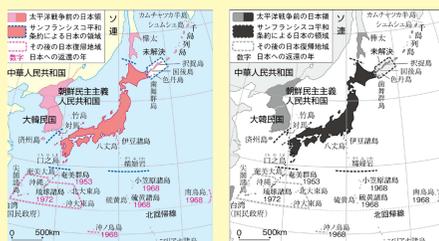


### 2 準拠テスト例 Word

教科書準拠のテスト例を収録。Word形式なので授業の進捗に合わせて編集可能です。

### 3 地図・図版 JPEG

教科書に掲載されている地図や図版をすべて収録(写真除く)。地図はカラーだけでなくモノクロでも収録されているので、テストや授業プリントなどに貼りつけてのご使用が可能です。



### 4 白地図 JPEG

各地域別の白地図を収録しています。

### 5 イラスト JPEG

プリント作成などの際、ワンポイントで使える人物や建物等のイラストを多数収録。



### 6 板書例・発問例・用語解説 Word

『教授資料 授業実践編』より、板書例・解説などを収録。

### 7 史料 Word

教科書や図録などに掲載されているものを中心に、頻出する史料文を口語訳と併せて収録しています。

### 8 年表 Excel

原始・古代から現代までの年表を収録しています。

### 9 デジタルブック PDF

教科書のレイアウトをそのままに、デジタルブック(PDF)として収録しました。

### 10 授業用Power Point教材 PowerPoint

※教科書ソフトCD-ROMとは別にDVD-ROMで収録

# ソフトが新しくなります

新機能

## 授業用 Power Point 教材

写真や地図など図版が多く含まれ、改編もできる! ※教科書ソフトに収録



## 「サンフランシスコ平和条約」の授業で、ICTを活用して授業を展開してみる

現代の日本史 の内容がスライドで展開されます。

### 何を学ぶかを明確に

#### 第6章 占領下の日本 4 独立の回復

冷戦の始まりや朝鮮戦争は、アメリカを中心とするGHQの日本占領策に大きな影響をおよぼした。その変化に注目しながら、経済復興と日本独立への道をみてゆこう。

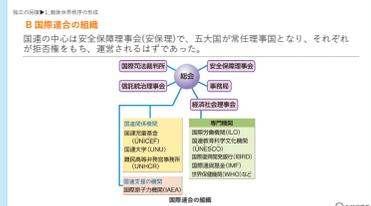
pp.168~173

### テーマごとの確認問題

→知識の定着

- 確認問題
- 1945年、世界平和を維持するための1カ国で発足した国際機構を何というか。
  - 1949年に、中国共産党によって樹立された国を何というか。
  - 日本経済自立のため、1948年12月に、GHQの学術的・技術的・資金・安全などの協力をとおこなった、これ何というか。
  - 北緯38度線を境に南北に分立した国家のあいだで発生した戦争を何というか。
  - 日本と連合国48カ国とのあいだで調印された平和条約を何というか。
  - 1951年の平和条約調印と同じ日に調印された、日本国内とその周辺にアメリカ軍の駐留を認めた条約を何というか。

### ポイントを絞った簡潔な文章 (改編自由)



### 問いかけ

→アクティブラーニングの導入にも使える

- 問いかけ
- 次の資料は、講和問題に関する漫画である。①の人物は吉田茂で、②の人物は東大総長の高橋繁である。なぜ、高橋繁は怒っているのか説明してみよう。
1. 国際連合
  2. 中華人民共和
  3. 経済安全
  4. 朝鮮戦争
  5. サンフランシスコ平和条約
  6. 日米安全保障条約

### 図版や写真が知識を深める



## デジタル素材集〈別売〉

弊社発行の教科書・図録に掲載されている図版(写真を除く)が収録されており、電子黒板やプロジェクターで簡単に投影できます。



「サンフランシスコ平和条約」で検索すると「現代の日本史」だけでは図版は1件ですが、全検索を行うと15件の図版がヒット! 図録2冊でも6件しかなく、全検索の方が選べる種類が多くなります。

### ムービー日本史



- ・テーマごとに、まとまった内容。
- ・わかりやすいナレーション付き。
- ・動画についての詳しい解説書付き。

### ニュースで見る日本史



- ・当時の貴重なニュース映像で構成。
- ・迫力の映像が満載。
- ・動画についての詳しい解説書付き。

# 山川のICTでつなぐ+ふかまる

電子黒板・プロジェクター用

## 日本史デジタル指導書(日本史A・B共通)

本体38,000円(税別) 商品番号: 86-073 ※デジタル教材集とデジタル素材集とのセット販売になります。

山川デジタル指導書の特長

- 電子黒板やプロジェクターなどICT機器を使用した授業で使えるPowerPoint教材を収録。
- 教科書・教授資料のデータやデジタル素材集などを活用してPowerPoint教材のカスタマイズが可能。
- 特典として、PowerPointの使い方を収録。教科書ソフト(別売り)やデジタル素材集とあわせて使うことでICT対応のオリジナル教材が容易に作成できる。

## 日本史デジタル教材集 ※単体でもご購入できます。

本体18,000円(税別) 商品番号: 86-075 ※指導書扱いにつき、教科書取扱い書店にご注文ください。



3つのポイント

- ①PowerPoint板書例(104のテーマ、1200以上のスライド)をご用意
- ②短くまとめたエッセンスでポイントが一目瞭然
- ③動画や教授資料等の教材も充実

内容(日本史A・B共通)

①PDFデータ

- ・教科書改訂版5点
- ・教授資料「授業実践編」改訂版5点(詳説日本史(日B309)・高校日本史(日B314)・新日本史(日B315)・日本史A(日A311)・現代の日本史(日A314))
- ・教授資料「研究編」

②授業用PowerPoint教材

- ・104テーマ(スライド1200以上)
- ・特典(PowerPointの使い方)1ランク上の「PowerPoint資料作成術」/PowerPointで鍛える歴史の「論理思考」

③デジタルMovie(24点)

- ④黒板投影用デジタル白地図

デジタル素材活用の、あらゆる授業スタイルに対応!

## NEW 日本史デジタル素材集 ※単体でもご購入できます。

本体20,000円(税別) 商品番号: 87-066



3つのポイント

- ①定評ある教科書と図録から、約2,600点を収録
- ②教科書、キーワードなどから簡単に検索できる
- ③画質の鮮明さにこだわり、遠くからでもよく見える

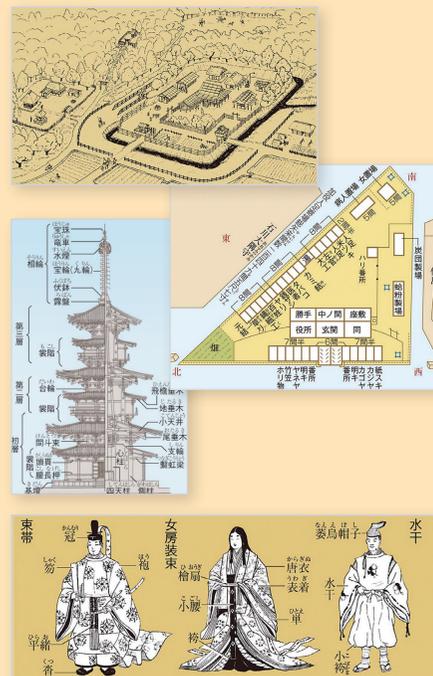
「山川日本史教科書全5冊」の特長

- 弊社発行の日本史教科書全5冊に加え、2冊の図録より、写真を除くすべての地図、系図、年表、グラフ、イラスト等の図版や資料を収録。
- 教科書の章立てだけでなく、キーワード検索が可能で、授業準備や授業中でもパソコンの画面上で簡単にセレクト・保存ができる。先生方のイメージする画像を使った授業を強力にサポート。
- パソコン画面上で拡大・縮小も簡単にでき、強調したい部分の投影も可能。
- 教室の後方からでも、十分鮮明な画像が得られる解像度。
- 画像データは、プリント作成にも使用可能。

日本史A・B共通

【教科書】日本史A:現代の日本史(日A314)・日本史A(日A311)  
日本史B:詳説日本史(日B309)・新日本史(日B315)・高校日本史(日B314)

【図録】詳説日本史図録/ビジュアル版日本史図録



探していた素材がすぐ見つかる! すぐ使える!

パソコンソフト

## 日本史正誤問題データ集

先生用(Windows版CD-ROM)

本体25,000円(税別) 商品番号: 86-069



3つのポイント

- ①かんたんな操作性を実現
- ②利用シーンに応じたオリジナル教材が作れる
- ③復習用の演習プリントのほか、実践的な入試対策としても使える

2015年までの大学入試に出題された過去7年間分の正誤問題を集めて収録。様々な条件での抽出はもちろん、詳説日本史(日B309)の章・節からの抽出やキーワードでの検索も可能です。

※対応機種: Windows 8.1, 10

[抽出条件]

- ・出題年度
- ・時代区分「原始・古代/中世/近世/近代・現代/総合」
- ・難易度「基礎/標準/発展」
- ・分野「政治・外交/経済・社会/文化/総合」
- ・章・節 詳説日本史の章・節

おなじみの正誤問題集が最新バージョンで登場!

デジタル地図

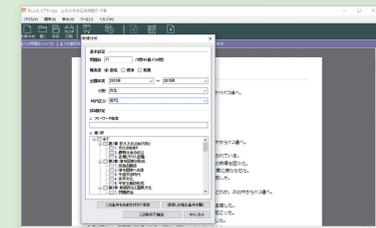
## 山川デジタル歴史地図

本体35,000円(税別) 商品番号: 86-079

地歴科ご担当の先生に必携のデジタル歴史地図。世紀ごとの世界地図をメインMAPとし、そこから教科書や図録に収録の地図への切り替えが可能。描画ツールを使って書き込みもでき、白地図にも切り替えられる。



拡大縮小や表示範囲が自由自在! これからの歴史授業に必携のデジタルMap



難しい操作ではなく、利用シーンに応じたテスト問題作成を簡単な操作性で実現し、先生方の作業負担を軽減いたします。復習用の演習プリント作成だけでなく、入試対策教材としてもご利用いただけます。

機能一覧

- ・新規作成機能
- ・問題保存機能
- ・保存問題読み込み機能
- ・選択肢シャッフル機能
- ・問題の抽出条件選択機能
- ・問題のフリーワード検索機能
- ・抽出問題数設定機能
- ・抽出された問題の編集機能
- ・抽出された問題の全文コピー機能
- ・ヘッダー、解答欄、氏名欄の自動作成機能
- ・出題された大学・学部の表示機能

映像教材

## 動く写真集 ムービー日本史(全4巻)

本体各15,000円(税別) 商品番号: 1巻87-026/2巻87-027/3巻87-028/4巻87-062

高等学校のベストセラー教材「日本史写真集」全6巻・388項目の中から特に必要度の高い138項目を厳選し、DVD4枚に収録。



授業の導入に最適! わかりやすいナレーション 詳しい解説書付

# 日本史A・B 教科書一覧

A



日A 311

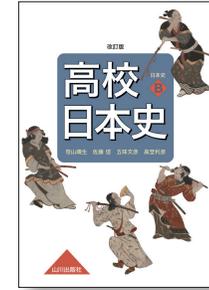


日A 314

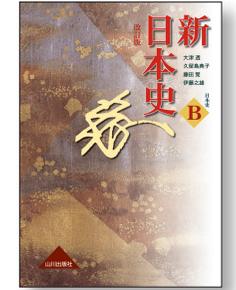
B



日B 309



日B 314



日B 315

## 著作者・ 編集協力者

(2020年3月現在, 五十音順)

荒井 晴夫 (あらい・はるお)

前埼玉県立岩槻高等学校長

歴史教育

- 高校日本史



伊藤 之雄 (いとう・ゆきお)

京都大学名誉教授

日本近代史

- 新日本史



老川 慶喜 (おいかわ・よしのぶ)

跡見学園女子大学教授

日本近代史

- 詳説日本史
- 高校日本史
- 日本史 A



大津 透 (おおつ・とる)

東京大学教授

日本古代史

- 新日本史



加藤 陽子 (かとう・ようこ)

東京大学教授

日本近代史

- 詳説日本史
- 高校日本史
- 日本史 A



久留島 典子 (くしま・のりこ)

東京大学教授

日本中世史

- 新日本史



五味 文彦 (ごみ・ふみひこ)

東京大学名誉教授

日本中世史

- 詳説日本史
- 高校日本史



斉藤 真幸 (さいとう・まさき)

群馬県立前橋女子高等学校教諭

日本近代史

- 日本史 A



早乙女 雅博 (さおとめ・まさひろ)

東京大学名誉教授

考古学

- 高校日本史



坂上 康俊 (さかうえ・やすとし)

九州大学教授

日本古代史

- 詳説日本史
- 高校日本史



桜井 英治 (さくらい・えいじ)

東京大学教授

日本中世史

- 詳説日本史
- 高校日本史



笹山 晴生 (ささやま・はるお)

東京大学名誉教授

日本古代史

- 詳説日本史
- 高校日本史



佐藤 信 (さとう・まこと)

東京大学名誉教授

日本古代史

- 詳説日本史
- 高校日本史



塩出 浩之 (しおで・ひろゆき)

京都大学准教授

日本近代史

- 現代の日本史



白石 太一郎 (しらishi・たいちろう)

国立歴史民俗博物館名誉教授

考古学

- 詳説日本史



鈴木 淳 (すずき・じゅん)

東京大学教授

日本近代史

- 詳説日本史
- 高校日本史
- 日本史 A



高埜 利彦 (たかの・としひこ)

学習院大学名誉教授

日本近代史

- 詳説日本史
- 高校日本史
- 日本史 A



高橋 典幸 (たかはし・のりゆき)

東京大学准教授

日本中世史

- 詳説日本史



高村 直助 (たかむら・なおすけ)

東京大学名誉教授

日本近代史

- 日本史 A



鳥海 靖 (とりうみ・やすし)

東京大学名誉教授

日本近代史

- 現代の日本史



中家 健 (なかいえ・たけし)

東京都立小石川中等教育学校教諭

日本史教育

- 詳説日本史



中里 裕司 (なかざと・ひろし)

前東京都立日比谷高等学校教諭

日本近代史

- 詳説日本史



中村 尚史 (なかむら・なおふみ)

東京大学教授

日本近代史・経済史

- 現代の日本史



野崎 雅秀 (のざき・まさひで)

東京大学教育学部附属中等教育学校教諭

日本近代史・歴史教育

- 日本史 A



藤田 覚 (ふじた・さとる)

東京大学名誉教授

日本近世史

- 新日本史

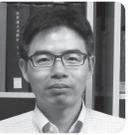


牧原 成征 (まきはら・しげゆき)

東京大学准教授

日本近世史

- 詳説日本史



三谷 博 (みたに・ひろし)

跡見学園女子大学教授

日本近世・近代史

- 現代の日本史



吉田 伸之 (よした・のぶゆき)

東京大学名誉教授

日本近世史

- 詳説日本史
- 高校日本史



渡邊 昭夫 (わたなべ・あきお)

東京大学名誉教授

日本現代史・国際関係

- 現代の日本史

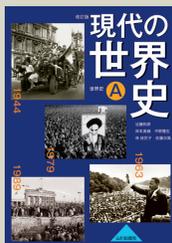


# 令和3年度用教科書

## 世界史

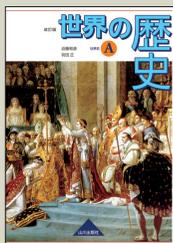
### 世界史 A

現代の世界史



改訂版 世 A315

世界の歴史



改訂版 世 A316

要説世界史



改訂版 世 A318

### 世界史 B

詳説世界史



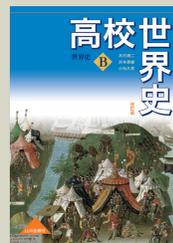
改訂版 世 B310

新世界史



改訂版 世 B313

高校世界史

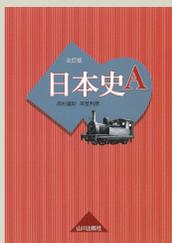


改訂版 世 B314

## 日本史

### 日本史 A

日本史 A



改訂版 日 A311

現代の日本史



改訂版 日 A314

### 日本史 B

詳説日本史



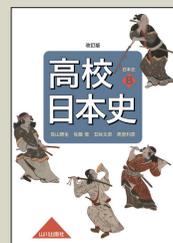
改訂版 日 B309

新日本史



改訂版 日 B315

高校日本史



改訂版 日 B314

## 公民

### 現代社会

現代社会



改訂版 現社 323

### 倫理

現代の倫理



改訂版 倫理 309

### 政治・経済

詳説政治・経済

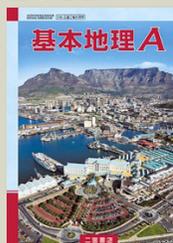


改訂版 政経 316

## 地理

### 地理 A

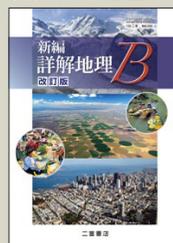
基本地理 A



地 A309

### 地理 B

新編詳解地理 B



改訂版 地 B305

二宮書店

令和3年度は新刊教科書を刊行いたしませんので、本年度は教科書見本本をお送りいたしておりません。教科書調査研究のための既刊本の送付は、採択権者から各都道府県教育委員会もしくは教科書協会へのご依頼により、一部を上限として可能です。ただし、文科省が定めた条件にそぐわない等によりご依頼に応じることができないこともございます。

お問い合わせは、各都道府県教育委員会までお願いします。